

# 畜産協会たより ～ 令和7年度 第1号 ～

## ★マイクロ MIX 法とは？ ― 畜産現場の消毒力を高める新技術 ―

### 1. はじめに

畜産現場では、伝染病の発生予防や生産性向上など、さまざまな目的で消毒が実施されていますが、消毒は温度、有機物の存在、作用時間、pH など、さまざまな要因により影響を受けることが知られています。



一般に用いられている逆性石けん（アストプ、クリアキル、ロンテクト、パコマなど）は、低濃度でも高い殺菌・殺ウイルス効果が認められ、毒性や刺激性が低いため、畜舎や踏込消毒槽、車両消毒などに用いられていますが、以下のような弱点があります。

- ① 低温下で効果が落ちる。
- ② 有機物存在下（汚れの付いたところ）で効果が落ちる。
- ③ 効果が出る病原体に限られる（口蹄疫ウイルス、豚サーコウイルス等に効果がない）。

### 2. マイクロ MIX 法とは・・・

上記のような逆性石けんの弱点を補う革新的な技術として今注目されているのが、マイクロ MIX 法です。

マイクロ MIX 法は、逆性石けんに消石灰より粒が細かい平均粒子径  $10\mu\text{m}$  の水酸化カルシウム粉末（マイクロ水酸化カルシウム）を濃度 0.17%以上となるように混ぜた消毒液による消毒法です（現場では0.2%とした方が計量しやすい）。

逆性石けんとマイクロ水酸化カルシウムの相乗効果により、低温化や有機物存在下でも効果が増強され、さらに病原体に対するスペクトルが広域化し、より多くの種類の病原体に効果を示すようになります。

### 3. 消毒液の作り方・使用する際の留意点

| 資材                            | 夏（1000 倍希釈） | 秋～冬～春（500 倍希釈） |
|-------------------------------|-------------|----------------|
| 水                             | 200L        | 200L           |
| 逆性石けん                         | 200mL       | 400mL          |
| マイクロ水酸化カルシウム<br>（0.2%で作製する場合） | 400 g       | 400 g          |

上の表の各資材を混合後、棒などでよく攪拌します。

作製後、溶けきらないマイクロ水酸化カルシウムが沈殿するまでに少し時間がかかります（1～2時間程度で沈殿するといわれています）。

動力噴霧器で使用する際は、給水ホースのストレーナーにフィルター（目の細かい洗濯ネットでも可）などを取り付けて、粉末を吸い込まないように上澄み液だけを噴霧してください。作り置きが可能です。が、1週間程度で使い切ってください。

なお、消毒液を使い終わった後の沈殿物には消毒効果を強化する効力は残っていないといわれているので、消毒後、タンクに残った沈殿物は取り除いてください。

## ★家畜防疫互助基金支援事業（事業期間：令和6～8年度）

家畜防疫互助基金支援事業は、口蹄疫や豚熱等の伝染病が発生した場合に備え、畜産経営への影響を緩和するために生産者自らが積立を行い、発生農場が経営再開までに必要な経費等を相互に支援する仕組みに国（独立行政法人農畜産業振興機構）が補助する事業です。

生産者が納付した積立金のうち、牛に係るものは牛生産者基金、豚に係るものは豚生産者基金で管理され、万一疾病が発生し互助金が交付される場合は、牛については牛生産者基金、豚については豚生産者基金からそれぞれ交付される仕組みとなっています。

なお、平成30年9月以降、全国で豚熱が発生していますが、このうち40農場について、飼養衛生管理の不備等により、家畜伝染病予防法に基づく手当金の減額又は不交付措置が講じられています（令和7年6月現在）。

同様に、互助金についても減額又は不交付となる場合があります（手当金の減額率と同率が適用されます）。

口蹄疫、豚熱等の発生を未然に防ぐため、また、万一の発生の場合、手当金・互助金の減額又は不交付とならないよう

**飼養衛生管理基準を遵守しましょう !!!**

## ★家畜生産農場衛生対策事業・特定指定疾病損耗防止推進事業

地域の自衛防疫団体において、下記のワクチン接種を行っています。

### ＜ ワクチンの種類 ＞

牛：牛伝染性鼻気管炎（5混）

牛異常産（4混）

イバラキ病

豚：豚丹毒（生）（不活化）

鶏：ニューカッスル病（生：B1株、その他株、日本全葉）

ニューカッスル病及び伝染性気管支炎混合（生：アビテクト、その他株）

ニューカッスル病（5混）（6混）（7混）



| 予防注射<br>事業 | 牛            |          |         | 豚       | 鶏              |
|------------|--------------|----------|---------|---------|----------------|
|            | 牛伝染性<br>鼻気管炎 | 牛異常産     | イバラキ病   | 豚丹毒     | ND、<br>ND・IB 他 |
| 6年度実績      | 28,023 頭     | 13,950 頭 | 8,095 頭 | 2,547 頭 | 8,429 千羽       |
| 7年度計画      | 28,380 頭     | 14,890 頭 | 7,640 頭 | 3,100 頭 | 8,900 千羽       |

**大切な家畜を守るため、疾病の発生予防に心がけましょう**

一般社団法人 長崎県畜産協会

〒850-0047 長崎市銭座町3番3号

TEL 095-843-8825

FAX 095-841-8810

E-mail: cdy93930@par.odn.ne.jp

